

生きる力

第 51 号

平成 31 年 2 月 10 日
文責発行：中西秀幸
〒745-0302
周南市鹿野上 3217 番地
TEL 0834(68)2106
FAX 0834(68)2103

広島の道友から新居浜市立泉川中学校の様子を知らせる一人新聞をいただきました。学校掃除道具の整理整頓、その周辺の美しさ、地域の方々とする清掃ボランティア写真、その後のトイレ掃除と大感動された様です。私も下関市立川西中小学校で生徒を含め約40名とトイレ掃除、一緒に掃除した小学校一年生にまた掃除したいと言わせるその指導力に大感心致しました。

1月26日古谷幸男市議会議員の市政報告会に参加させて頂きました。あいにくの大雪でしたが20名弱の方々が参加されていました。最初に藤井律子県議会議員の市長選挙出馬の経緯のお話をされました。次に鹿野総合支所整備について語られました。

鹿野地域の生き残り策は?!

鹿野総合支所整備については、昨年12月12日に開催された企画総務委員会でお話でした。①鹿野総合支所を「コアプラザ」の場所に移転する②山口銀行鹿野支店の入居スペースを確保する③ホール機能を持った多目的スペースを整備する。その整備方針に対して住民の合意は本当に得られているのかとの古谷議員の質問に対して大方の合意は得られていると行政は回答。その方針決定の理由は①地域住民の安心安全な暮らし

の役に立つ②防災体制避難場所の確保など不測の事態への対応と連携がしやすくなる③公共施設再配置の基本原則の総量抑制につながるからだと行政は説明された。公共施設は削減が基本となっております。体的な町づくりの視点が疎かになっている。また、鹿野総合支所移転は地域住民の意思を確り確認してから進めるように要請していると古谷議員。整備スケジュールは2019年度基本設計及び施設整備に係る利用者等住民の意見の集約、2020年度以降、実質設計、施設整備工事後に、運用開始と報告された。お話後、質疑応答がございました。総量抑制は必要か、必要としたらどのように進めるのが



理想的かと私も質問させて頂きました。必要ではあるが、自分達の町をどう維持してゆくか、どういう町づくりをめざしてゆくのかというところで総量抑制とか再配置が考え方として出てくると返答を頂きました。さらに周南市全体の町づくりの絵はと訊ねました。それはパークタウン構想、コンパクトシティだとか教授頂きました。コンパクトシティは市の生き残り策、今後の人口減少に対して都市機能誘導区域に都市機能を集出し市民生活を維持する計画と理解しています。鹿野はその計画区域外なので行政支援も受けての夢プラン創りなのです。鹿野の行く末、未来だけでなくどう地域を維持するか、生き残り策についても衆知を集めプランづくりを進めるべきだとその報告会後に思いました。

鹿野地域にもメリットがある観光を

19日、おもてなし塾、鹿野散策コースを考えてみよように参加。講師は向上潤氏でした。始めに地域の魅力について意見を出し合いました。ほぼこれまでの観光コースにある場所が挙げられました。芋掘り、カタクリの花等の発言もありました。次に実際に観光コースをつくりました。私たちは、児童生徒を持つ若い家族をその観光ターゲットとして考えました。作付けから収穫までを楽しんでもらう農業体験、具体的にはさつま芋づくりや米づくり。わさびやトマトなどの特産品の収穫体験等もその中でしてもらおう。そして、とくに子どもには自然との触れ合い、せせらぎパークでの川あそびや昆虫や動物調べ、さらには飯ごう炊飯などで食事をつくる体験もしてもらおう。自然の中での遊びや体験を通じて鹿野の良さや魅力を家族で知ってもらって楽しんでもらうことがそのコースの目的です。従来の観光コースのように綺麗だった、初めての体験だった、ゆっくりできた感動され癒されて鹿野を楽しんでもらうことも大切ですが、それだけで終わるのではなく、観光してもらった鹿野にとってもメリットがあるように工夫したいのです。たとえば鹿野の経済を潤してもらえるようにする、あるいは地域存続のために移住して住民となつてもらえるようにする。今回の塾のおかげで観光を違う視点で考える機会を頂く事ができて感謝しています。

地域イベントご紹介

◎夢プラン策定委員会

- ・場所 コアプラザかの大研修室
- ・日程 2月23日(土)
- ・時間 13時30分より
- ・テーマ 若者・子育て・教育
- ・問合せ 68・2094
- ・コアプラザかの事務局に参加連絡必要!
- ◎認知症サポート養成講座
- ・場所 コアプラザかの健康管理研修室
- ・日程 3月7日(木)
- ・時間 10時から11時半
- ・講師 おにたけ居宅介護事業所職員
- ・主催 なでしこの会
- ・問合せ 会長 原田明氏 68・2837

周南掃除に学ぶ会

時間を直接自分の利益に結びつかない事や周囲の人や社会のために費やす事ができるようになったら立派な大人という一話を共有してからの掃除でした。2月は晴海公園トイレを24日(日曜日)7時より2時間の予定で掃除します。長靴を履いてご参加下さい。お待ちしています!道具準備のため事前申込をお願いしています。町の田んぼがあたりが、当日の飛入り参加もOK!

鹿野が分るクイズ

【問題】

平成31年1月末、鹿野地域の高齢化率は何%でしょうか?
人口の推移はコアプラザの入り口で発表されています。入り口のボードに貼ってあります。葉書にてご回答をお寄せの方々に抽選で小冊子「丁寧な暮らしで積極的な生き方を」謹呈!

【50号の答え】

平成27年度の周南市統計によると、鹿野地域で実際に経営されている田んぼの面積は17658アール。100アールを1町と考えると、176町6反が答えとなります。1反で米7俵収穫、1俵一万六千円で販売できたとしてその収入総額は約一億九千八百万円です。そこから苗、農薬や肥料機械代などを考えないといけません。米専業で年収2千万円だとすると10世帯しか暮らしてゆけないのかも。ちなみに平成14年、鹿野町時代には約650町の田んぼがあったようです。